



森友・加計疑惑の交渉記録、改ざんされていた公文書、ねつ造データ、「ない」とされていたイラク派兵の「日報」など、つぎつぎと出てくる文書は、安倍政治の腐敗の深さを示しています。

安倍首相のウソをとりつくろうために、閣僚や官僚がウソの答弁を重ねています。国会も民主主義もボロボロです。安倍政権が、政治の停滞を作り出しています。

正義が通る、あたりまえの政治、あたりまえの国会を取り戻しましょう。

国民は、ウソと不正を見逃さない！
あたりまえの政治を
とりもどそう！

「ウミ」を出さずに悪法強行なんて許さない

安倍首相の「お友達」だけを優遇する政治は、国民の99%を切り捨てる政治です。ウソがまかり通る政治は、国民をないがしろにする政治です。「ウミ」を出しきらなければなりません。

ところが、疑惑・不正にフタをしたまま、安倍政権は「カジノ実施法案」や「働き方改革法案」など悪法の強行成立をねらっています。

「働き方改革法案」は、何時間働いても残業代ゼロ、「過労死促進法」です。法案の根拠とされたデータの2割が異常データだったという、とんでもない法案です。「悪法の強行は許さない」と声を上げましょう。

「セクハラNO!」個人の尊厳を奪わないで!

財務省次官のセクハラ事件、さらに麻生財務大臣の「セクハラ罪と言う罪はない」など一連の暴言は、安倍政権の人権感覚のなさをあらためて示しました。

世界じゅうの女性たちが「勇気を出して声を上げた人を一人にしない」と、「# ME TOO」運動を広げています。日本国憲法は「個人の尊重（憲法13条）」や「両性の平等（憲法24条）」を保障しています。憲法を守らない安倍政権に「改憲」を言いたず資格はありません。「憲法を変える」のではなく、「憲法を実現する政治」に変えましょう。

安倍9条改憲NO! 戦争への道をストップ!

内閣支持率が落ち込む中でも、安倍首相は「9条改憲」に固執しています。憲法9条に“海外で武力行使をする自衛隊”を書き加え、日本を「戦争しない国」から「戦争する国」へ180度変えようとしています。軍事予算優先で、福祉・教育予算はバツサリ削減。産業や研究・教育も軍事優先で、基本的人権も制限される…そんな「戦争する国」にしてよいのでしょうか。

朝鮮半島は「対話」を力に「平和」へ向かって歩みだしました。日本国憲法を生かした、平和外交の道こそ、日本の未来を拓くのではないのでしょうか。

あなたも「3000万人署名」を